

- 令和5年7月10日（月）14：30～16：30 ソニックシティ 小ホールで開催
- 参加者 会場：320人
- 挨拶 埼玉県知事、さいたま市長（ビデオメッセージ）、国土交通省 関東地方整備局長
- 基調講演 東京大学先端科学技術研究センター 廣井教授「関東大震災とこれからの地震防災」
- パネルディスカッション 『首都直下地震とその備えをわがこととして考える』

主催：関東地方整備局 大宮国道事務所
埼玉県 さいたま市
後援：一般社団法人 埼玉県建設業協会
株式会社 埼玉新聞社

■開催状況（受付・パネル展示）



受付状況

展示状況

■防災体験VRコーナー設置状況



体験の様子

■挨拶



埼玉県 大野知事

「災害時に必要なのは、準備と創造力である。繰返しの訓練、関係機関との連携を強固なものとし、埼玉県版FEMAの取組を進め、災害対応力を強化する。」



さいたま市 清水市長(ビデオメッセージ)

「市の公助と合わせて市民一人一人が災害に備える自助、地域で助け合う共助に取り組んでいただき、災害時の被害を減少させる。」



関東地方整備局 藤巻局長

「いざという時だからこそ、限られたことしか出来ない、災害が発生した時の1歩目、2歩目をどう踏み出すか考えたい。」

■基調講演

「関東大震災の被害とその教訓」

東京大学先端科学技術研究センター 廣井 悠教授



- 関東大震災における被害の特徴
 - 地震全体の被害概要
 - 8割が火災被害
 - 火災被害の概要
 - 都市は安全になっているのか
 - 出火・延焼・消防・避難を分析

○埼玉県で注意すべき災害現象

- ・地震火災
- ・帰宅困難
- ・広域避難



講演の様子

■パネルディスカッション 『首都直下地震とその備えをわがこととして考える』

コーディネーター

◇東京大学先端科学技術研究センター 廣井 悠 教授

パネラー

- ◇埼玉大学理工学研究科 小嶋 文 准教授
- ◇JR東日本大宮支社 森 明 支社長
- ◇埼玉県 山本 悟司 副知事
- ◇さいたま市 小川 博之 副市長
- ◇国土交通省関東地方整備局 藤巻 浩之 局長



森支社長



小川副市長



小嶋准教授



山本副知事



パネルディスカッションの様子



廣井教授



藤巻局長

主な意見

- ・鉄道、道路が集まる大宮台地の立地を活かす
- ・災害時のバックアップ・支援拠点としての機能強化
- ・関東各地との連携、広域幹線道路網、交通結節点の強化
- ・帰宅困難者対策としての拠点拡充・情報発信・モビリティ
- ・市民、企業、行政等の「連携」と「わがこと化」
- ・地域の守り手としての建設業の役割・担い手確保が重要
- ・防災分野でのDXや無人化施工など国土強靱化に取り組む
- ・市民、子供目線での取組が防災にも貢献